

日本法政学会 第4号

学会通信



▲キャンパス内の銀杏並木。土曜日であるにもかかわらず、多くの方がキャンパス内の散策を楽しんでいた

発行：日本法政学会（事務局：埼玉県加須市水深大立野2000 平成国際大学 浅野研究室）

電話：0480-66-2100（代）FAX：0480-65-2101

令和五年二月九日（土）～十日（日） 第一三九回総会及び研究会開催 於：慶應義塾大学 三田キャンパス

十二月九日と十日の二日間にあたり、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて総会及び研究会が、百人を超える参加者の下、開催された。

松野民雄理事長による「『反核食公民投票』を巡って」、第二報告で

開始された。第一報告では、茹ギョク会員（明治大学）による「福島原

第一原発事故により生じた食品安全問題に関する

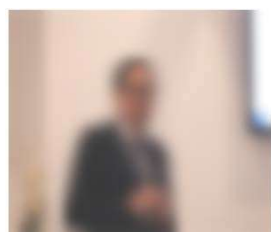
台湾新聞のフレーム分析



茹ギョク会員



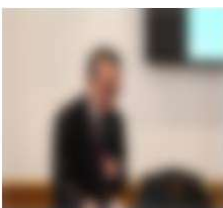
▲会場となった東館



後藤新会員



大林啓吾会員



▲杉原充志会員（羽衣国際大学）
「この国の法政策は、超・少子高齢社会とどう向き合うべきか？」

（武蔵野大学）による「近代東京の一考察―弁慶橋よりみた都市開発の光と影―」が報告され、午前の研究報告が終了した。午後は、シンポジウムは、非常に盛り上がった。



▲企画趣旨を説明する
松野理事長

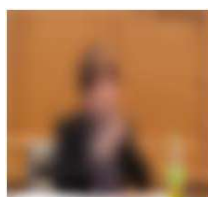
は、大林啓吾会員（慶應義塾大学）による「要人保護に関する憲法的考察―シークレットサービス―の職務と免責法理」、第三報告では、後藤新会員



▲会場内の様子。非常にシックで格式高い部屋であった



▲質疑応答の様子



▲コメンテーターを務める
長上会員



▲神尾真知子会員（日本大学）
「生産年齢人口の減少と労働法政策」



▲倉田賀世会員（熊本大学）
「社会保障原理に基づく出産・子育て支援策の検討」



▲福島康仁会員（日本大学）
「人口減少社会と自治体機能の変容」

五報告では、河野総史会
員（志學館大学）による



井上従子会員

一日目の余韻が残る中、
二日目の研究報告が開始
された。第四報告では、
井上従子会員（慶應義塾
大学SFC研究所）によ
る「女性支援新法を巡る
法的課題と展望」実効性
確保に向けた制度の充実
強化等について、第



岡田順太会員

告では、岡田順太会員
（獨協大学）による「英
王室属領法体系の形成過



河野総史会員

「インサイダー取引にお
ける民事責任」、第六報

講演会後、個人報告が
再開された。第七報告は、



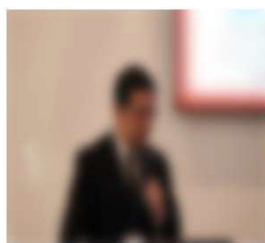
玉井清会員

程と特殊性」が報告され
た。その後の昼食と理事
会の後、玉井清会員（慶
応義塾大学）による特別
講演「戦時標語『鬼畜米
英』についての一考察―
『撃ちてしまわむ』とそ
の時代―」が開催され
た。



▲閉会の辞を述べる浅野事務局長

主義の現在地点」の報
告がなされ、全ての個人
報告が無事終了した。そ
の後、浅野和生事務局の



宮崎一徳会員

に関する考察」、第八報
告では、宮崎一徳会員
（法政大学）による「市
民気候会議に見る熟議民



富樫ひとみ会員

富樫ひとみ会員（茨城キ
リスト教大学）による
「被介護高齢者によるカ
スタマー・ハラスメント



松浦先生とゼミ生の皆さん

閉会の辞により学会は幕
を下ろした。

事務局より

1 会費の値上げについて

理事会において、以下のとおり提案され、承認されました。

年会費を8000円とする（現行5000円）

印刷費、送料が高騰している折、ご理解いただければと存じます。

2 次回開催について

第140回総会及び研究会は、下記の要領で開催いたします。あらかじめご予定ください。個人報告希望者は、学会HP(<https://www.jalps.jp/index.html>)より令和6年1月15日(月)までに、申込フォームにてお申し込みください。

記

開催日:2024年6月29日(土)・30日(日)

場 所:広島修道大学

(広島県広島市安佐南区大塚東1-1-1)

理事長挨拶

今年は、春季・秋季の総会及び研究会に加えて、9月に台湾政治大学において日台学術研究会を開催しました。いずれも、盛会裏に充実した研究会を開催することができました。開催校関係者のご尽力及び会員各位のご協力に感謝申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。来年も、日本法政学会の運営・活動につきまして、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。良い年をお迎えください。

松野民雄

【編集後記】

初めて訪れた慶應のキャンパス。その異色として風情ある建物等に魅かれっぱなしでした。この場所での学会開催が無事成功したのは、幹事であり玉井清先生、松浦淳介先生そして松浦ゼミの学生の皆様の御尽力あってこそ。この場をお借りして深く御礼申し上げます。それでは、皆様、良いお年をお迎えください。

広報委員会 幹事

牧野高志（平成国際大学）